

KNAUFINSULATION



THE ECOSE® DIFFERENCE

ECOSE® が生み出す新しい常識
安心と安全、そしてこれから先の建物のために

Build on us.

どの建材を選ぶかが重要な時代

断熱材に求められるのは断熱性能だけではありません。

より健康に配慮した室内環境を実現するための、低VOC排出かつレッドリストの有害な化学物質を含まない製品。また、エンボディドカーボンの削減に効果があり、更には施工者にとって扱いやすく施工がしやすいなど、さまざまな需要が高まっています。

つまり、性能・サステナビリティ・快適性・施工のしやすさあらゆる全てを備えた断熱材が求められているのです。

グラスウールやロックウール断熱材の製造においては、繊維を結合させるためにバインダー（結合剤）が使用されます。バインダーには色々な種類があり、その原料も様々です。

ECOSE® イコースとは？

ECOSE®（イコース）は、クナウフ・インシュレーション独自の植物由来のバインダー（結合剤）です。グラスウール断熱材を製造する際に結合剤として使われるECOSE®は、**低炭素かつ低VOC**で、住む人、施工する人、そして地球環境にとって、**よりよい建物づくり**に貢献します。また、求められる**サステナビリティ**についてもあらゆる認証を取得しており、パフォーマンスの高さが実証されています。

ECOSEは当社製品の一原料ではありますが、それは大きなメリットを生み出します。

ECOSE®のメリット



低炭素製品の製造が可能となり、サステナブルな建物づくりにつながります。



VOC排出量が削減でき、より安心な建物づくりや作業環境の確保につながります。



施工しやすい製品となり、業務効率の向上につながります。





室内の空気をきれいに

低VOCで室内の空気質を高める。ECOSE®が生み出す新しい常識。

室内の空気質の向上は、健康で快適な生活に不可欠です。揮発性有機化合物の発生を抑えた建材は、汚染物質やアレルゲンを低減し呼吸を楽に、住む人の健康に配慮した心地よく快適にすごせる空間づくりをサポートします。



ECOSEを使用した製品でVOC(揮発性有機化合物)の発生を抑える

当社の製品は、最高水準の認証である「Eurofins Indoor Air Comfort Gold」を業界で初めて取得しました。この認証は、独立した第三者機関による試験および検証を経て取得しており、幅広い国や地域の基準を満たしている、又は上回っていることが確認されています。



ホルムアルデヒドなどの有害な化学物質ゼロ

ECOSEを使用した製品は、国際基準であるDECLAREの「レッドリスト」に掲載されている物質(人体に深刻な健康被害をもたらす化学物質)が一切含まれていないことが証明されています。当社のグラスウール製品は、DECLAREの「レッドリスト・フリー」ラベルを初めて取得した製品です。



さらに、グリーンビルディング認証への大きな一歩に

ECOSEは、LEED、グリーンビルディングインデックス (GBI)、グリーンマーク認証制度などのグリーンビルディング評価において、認証取得への後押しとなります。



15年以上にわたるECOSEの大きな実績

2009年に初めて導入されたECOSE。ECOSEの優れた特長は15年以上にわたり、住む人、施工する人、そして地球環境にとって、よりよい建物づくりに貢献してきました。その実績は、あらゆる試験や認証により実証されています。



ECOSEを使用した製品は、以下のような最も厳しい国際基準をクリアしています。



JIS 認証
規格製品

確かな性能と実績

実績ある性能でより優れた建物づくりを。
ECOSE®が生み出す新しい常識。



エンボディドカーボンの削減

低炭素でより優れた建物づくりを。ECOSE®が生み出す新しい常識。

世界の二酸化炭素排出量の約40%を占める建物。二酸化炭素排出量を削減することで、エネルギー消費量とコストを抑え、ネットゼロ目標の達成を後押しするとともに、より安心して未来を見据えた空間をつくります。



ECOSEは低炭素のバインダー

ECOSEは主に植物由来（最大98%）で短期間での再生が可能な原料から作られています。生物由来の炭素源を用いて製造され、植物が光合成によってCO₂を吸収するため、従来のバインダーと比べカーボンフットプリントが低減されます。



ECOSEで実現、低炭素の断熱材

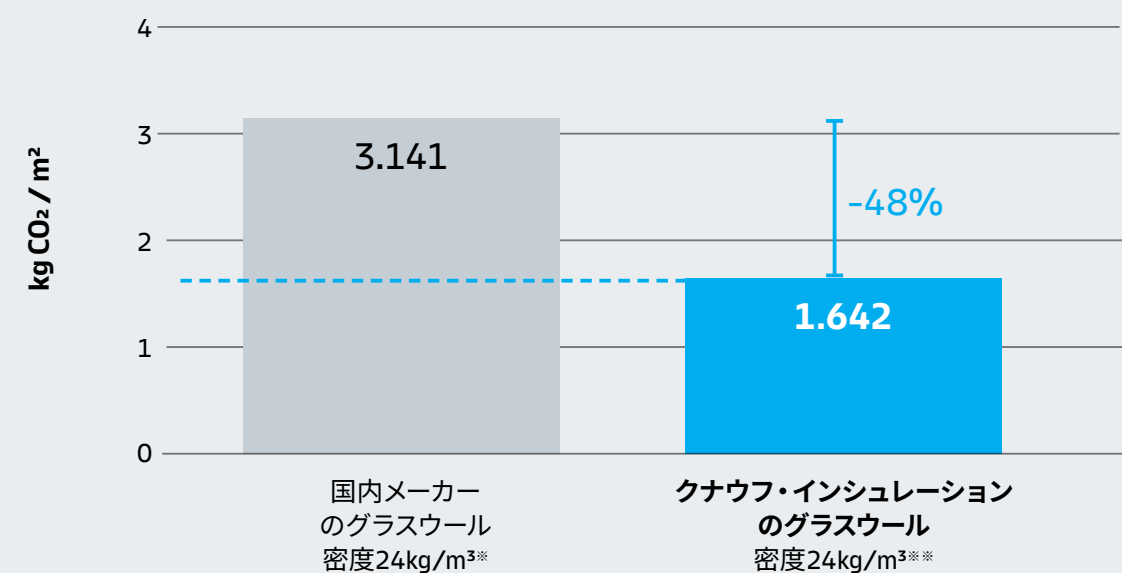
ECOSEは、バインダーの製造過程で発生する二酸化炭素量を削減でき、当社製品全体のサステナビリティに大きく貢献しています。エンボディドカーボンを、初期である原料の段階から大幅に削減します。

EPD環境製品宣言



製品のエンボディドカーボン（製造過程で排出される二酸化炭素量）や、製品が環境に与える影響を確認できる方法に、EPD(Environmental Product Declaration: 環境製品宣言)があります。各製品のEPDには、原材料・製造工程・包装・廃棄物など、サステナビリティの寄与に関する情報が細かく表示されています。

エンボディドカーボン排出量



※ EPD環境製品宣言 登録番号S-P-12163

※※ EPD環境製品宣言 登録番号EPD-IES-0015889



当社のEPD環境
製品宣言はこちら

当社は、サステナビリティの取り組みの一環として自社製品の環境負荷を測定・削減するとともに、透明性の観点から**EPD環境製品宣言を公開しています。**

より快適な施工を

扱いやすさを実感。ECOSE®が生み出す新しい常識。

施工に関わる時間の約3分の1を様々な建築資材に触れて過ごす施工者。
だからこそ、「ECOSEを使った断熱材」で、より快適な施工と作業環境を。



ECOSEを使用した製品でVOC(揮発性有機化合物)の発生を抑える

国際基準であるDECLAREの「レッドリスト」に掲載されている物質
(人体に深刻な健康被害をもたらす化学物質)が一切含まれて
いないことが証明されています。



ECOSEを使用した製品で施工の快適さを実現

お客様からは、従来のバインダーを使用した製品に比べ、チクチク
しにくい、かゆみや刺激が少ない、粉塵も立ちにくい、という声をいた
だいています。



より柔らかな手触り

施工業者の90%以上が、当社のECOSEを採用
したグラスウール断熱材は従来のグラスウール
と比べて手触りが柔らかく、かゆみが少ないと
回答しています。

「これは本当にすごい!かゆくならない。これが
グラスウールだなんて信じられない。」

当社のグラスウール断熱材は、独自の画期的
な繊維化技術により加工された、長くしなやか
なガラス繊維とECOSEの組み合わせにより、
非常に扱いやすく施工がしやすい製品になって
います。



気になる臭いがない

ECOSEにより、臭いが抑えられた当社のグラス
ウール断熱材。施工業者の80%以上が、ホルム
アルデヒドが使われていた従来のグラスウール
よりも、当社のグラスウール断熱材を好むと回答
しています。

「本当に臭いがありません。従来のグラスウ
ール断熱材と比べて格段に良く、作業がぐっと楽
になりました。」



カットしやすい

ECOSEのグラスウール断熱材のカットのしやす
さは、多くの施工業者に高く評価されています。

「この製品を気に入っているのは、
とにかく作業がしやすいからです。」

クナウフ・インシュレーションはヨーロッパ各地で500名以上の施工
業者を対象に、Gruppe Nymphenburg Consult AGをはじめとする
社内外のコーディネーターにより企画・運営されたトライアルを
実施しました。

The ECOSE® difference

ECOSE®が生み出す新しい常識。

クナウフ・インシュレーションの断熱材は、断熱材にはめずらしい特長的な色をしています。植物由来のバインダーECOSEによる自然なまのブラウンカラーは、見た目の違いだけではなく、メリットも生み出します。

従来のバインダーを使用した グラスウール断熱材

- ❌ 人工的な色合い
- ❌ 石油由来
- ❌ ホルムアルデヒド使用
- ❌ エネルギー消費量が多い
- ❌ 手触りが気になる



クナウフ・インシュレーションの グラスウール断熱材

with ECOSE®
TECHNOLOGY

- 💡 自然な色合い
- 🌿 植物由来
- 🧪 低VOC (有害な化学物質ゼロ)
- ☁️ CO₂ 低炭素
- 👉 施工がしやすい
- ★ 世界各国で特許を取得した
クナウフ・インシュレーション
の技術

KNAUF INSULATION

EARTHWOOL®

ECOSE®を使用した
当社製品の詳細についてはこちら
www.knauf.com



製品に関するお問い合わせ先

クナウフ・インシュレーション合同会社

〒111-8520 東京都台東区寿3丁目14番11号
蔵前チヨダビル7階



03-6231-6808



info.jp@knaufinsulation.com



www.knauf.com/ja-JP/knauf-insulation



詳細は、ウェブサイト
をご確認ください。

© 2026 Knauf Insulation

無断転載、写真製版による複製、および電子メディアへの保存を禁じます。本書の情報、テキスト、イラストは、細心の注意を払って作成・編集していますが、誤りが含まれる可能性があります。出版社および編集者は、誤った情報やその影響について、一切の責任を負いかねます。誤りのご指摘や改善のご提案がございましたら、弊社までお問い合わせください。

KIJP04261810BR^(V0.8)

Build on us.